



RI テーマ ローターリー：変化をもたらす

天童東ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018

「さわやかな風をあなたから

クラブテーマ

つくろう奉仕の物語 情熱と感動を求めて」

会長 赤塚弘實

会長/赤塚弘實・幹事/相馬勝博・クラブ会報委員長今田治雄

職業 製氷業

通常例会 1543 回・本年度第 16 回 例会日 2017 年 10 月 25 日 会場/天童ホテル

司会 / 小関芳重

ソング / 四つのテスト

タクト / 原田正夫

会長挨拶 赤塚 弘實 会長

皆さん、こんにちは心配された大型台風 21 号私達の山形県 そして天童市には予報では直撃との事でしたが、さほど影響がなく良かったのですが、全国ニュース等で災害報道を見ておりますと、とても凄い台風でした。衆議院選挙開票報道で災害の様子が後になっておりましたが、災害に遭われた方々にお見舞いを申し上げたいと思います。



さて、本日のゲストをご紹介します、地区ガバナーノミニー、米山奨学・学友委員会委員長の久保章宏さんです。今日は卓話を頂きます、宜しくお願い致します。

私共、天童東ロータリークラブ入会 3 年未満のメンバーが多くなっておりますので、少々お話させて頂きますが、国際親善と世界平和に寄与する為に始まりました、米山奨学会事業は日本最大の民間国際奨学事業であります。内容は日本で学ぶ外国の人を支援するプログラムで 1952 年にスタート致しました。全国のロータリーアンからの寄与金を財源として、留学生を支援するという世界では類を見ない日本独自のプログラムで支えています。また、留学生の交流も盛んに行われ日本の文化や伝統そして歴史を学んでいます。是非本日は、理解を深めようではありませんか！

今回の例会ですが、舞鶴山入口にあります天童公園駐車場 今、急ピッチで整備されていますが、入口に村山年度時創立 30 周年記念の桜の木を植樹する例会です、大震災復興祈願桜も合わせて植樹致します、ステンレスの看板と合わせて、植樹の運びです 山本天童市長も参加されますので、皆様のご出席をお願い致しまして本日の会長挨拶と致します。

本日の卓話

「人と世界を結ぶ人づくり 米山記念奨学友事業」

地区米山奨学・学友委員長 久保彰宏 氏

2017 年 7 月 1 日、ロータリー米山記念奨学会は財団設立 50 周年を迎えました。今年は 50 年という節目の年ですので、少し歴史を振り返ってみたいと思います。



この事業の名称に付けられている「米山」とは、日本のロータリーの父、米山梅吉氏のことです。梅吉氏が亡くなった後に設立されたものですが、なぜ、米山という名前が冠されているのでしょうか。米山梅吉氏は 1868 年東京生まれです。戊辰戦争が始まった年で

した。19歳のころアメリカに渡り、8年もの間、留学生を送ります。大変な苦学生でした。こうした自身の体験もあり、のちに、アジアから日本に来ている留学生を陰ながら支援したと言われていました。帰国後、新聞記者を目指しましたが、結婚を機に三井銀行に入り、41歳で常務取締役へとスピード昇進を果たします。飛行機のなかったこの時代、梅吉氏はたびたび船で海外視察に出かけており、そのなかでダラス RC 会員だった福島喜三次氏と出会い、ロータリークラブの存在を知ったと言われていました。1920年、東京ロータリークラブを設立し、梅吉氏は初代会長となります。日本初のロータリークラブとあって、例会も月に1回程度と、会員たちの意識も当時はいささか薄かったそうです。しかし関東大震災が起こり、海外から多くの支援が寄せられたことを機に、会員たちは奉仕活動に目覚めました。梅吉氏は、オフィスの灰の中から掘り出したロータリーバッジを会員に示しながら、「この小さなバッジのように、Rotary Spirit は、地震や火災によっても生きながらえ、輝きつづける」と言い、以後クラブの運営は一新されたと言います。1930年代になると、日本に政変が相次いで起こり、世界が戦争へとむかいはじめます。梅吉氏は1937年、いっさいの公職から退き、私財を投げ打って青山学院のなかに緑岡小学校を設立しました。授業料以外は保護者から受け取ることなく、そのため経営は苦しく、先生たちのボーナスをつくるため、妻にかくれて、集めた書画を骨董屋に売ってお金に換えていたそうです。アメリカに本部を置くロータリークラブは、そのために当時、スパイ呼ばわりをされて弾圧を受け、日本のロータリークラブは次々と RI を脱退しました。東京ロータリークラブもまた、解散し、「水曜倶楽部」と名を変えて、ひっそりと存続する道を選んだのです。最後の例会で、重い足どりで前に出た梅吉氏は、新しい組織でもインターナショナルの精神は絶対に残すべきであり、奉仕の理想を持ち続けなければならない、と力説しました。20年かけて日本で発展しつつあったロータリークラブを自らの手で解散する。梅吉氏にとって相当の無念であったことは想像に難くありません。追い打ちをかけるように、梅吉氏が情熱を注いだ緑岡小学校が1944年、アメリカの爆撃で一夜にして灰となってしまいました。梅吉氏は病に伏せるようになり、戦後、日本のロータリーの復帰を見ることなく、1946年に亡くなりました。78歳でした。

戦後、日本が国際ロータリーに復帰し、ロータリー財団奨学金の存在を知るにつけ、自分たちにも何かできることはないだろうか……という気運が高まってきました。東京 RC の会員の一人、梅吉氏の眼鏡を作っていた小川守三氏は、「米山さんと私」という文章のなかで、こう述べています。昭和25年（1950年）秋ごろ、梅吉翁を偲ぶ会を開いた際、「戦後のアジア民族の融合のために、何か東京ロータリークラブとして考えたい、などと話し合いました。米山さんを記念し、たたえるためにアジア諸国からの学生を呼ぶことも一案ではないかと提案致しました。」国際ロータリーに復帰を果たした東京 RC の最初の会長をつとめ、のちに米山奨学事業を全国組織化するために奔走した小林雅一氏（東京 RC）も、第60区ガバナーをつとめていた1952年度、ガバナー月信で次のように述べています。「国際ロータリー財団にて、毎年百数十名の学生に対し奨学金を支給して、一カ年間他国に留学させ、非常に好結果を挙げている事は既に熟知の通りであります（中略）日本のロータリアンもせめて日本にいる外国の留学生諸君をとときどき慰めてやるような催しはできぬものか……」こうして1952年11月、東京 RC が「米山基金」の構想を発表します。

アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。海外からの留学生を支援していたとされる米山梅吉の名を冠する事業として、ふさわしいものでした。さっそく、東京RCでは特別委員会が組織されました。委員長以下、総務部や渉外部、学事部など5部門にわかれ、総勢53人という大がかりなものでした。1954年、タイから第1号奨学生・ソムチャードさんが来日し、翌年には日本で学ぶインド出身のイーペンさんが選ばれました。彼らは日本全国のクラブに呼ばれ、各地で手厚い歓待を受けました。この米山基金は、わずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。財団法人となった当時、年間59人だった奨学生数は、2000年までほぼ減ることなく増え、最大で1,100人を支援していました。寄付額に応じて採用数を調整しており、現在は約800人となっています。一時期より減ったとはいえ、この事業規模は、外国人留学生に奨学金を出す民間団体では日本最大です。

2017学年度は全国で793人、累計で世界125の国・地域から19,808人を支援しています。米山記念奨学事業の成果、それは学友です。2万人にせまる学友たちは、世界の各方面で活躍しています。2011年、東日本大震災が起きたとき、発生直後から日本の無事を願う悲痛なメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から760万円の義援金が送られました。米山への寄付はロータリアンだけではありません。学友たちからもこれまでに3,032万円の寄付をいただいています(2017年6月末)。ロータリアンになった学友数は、事務局が把握しているだけで227人、ガバナーになった者も3人います。学友が中心となって設立したロータリークラブも国内外にあります。

皆さんが海外で何か活動しようとするとき、その国には米山学友がいます。

日本語で話をすることができ、ロータリーをよく知る学友は、文字通り、日本と母国との懸け橋 となってくれるのです。米山奨学事業は、地域に誇れる国際奉仕活動です。2800地区全ロータリアンが参加しています。米山の活動を理解頂き、奨学生との交流を深め、国際交流の懸け橋を架けて下さい。宜しくお願いします。

幹事報告 相馬 勝博 幹事

1. 酒田東RCより、創立50周年記念式典参加お礼が届いています。
2. 天童東RCのホームページ上の出欠連絡ページを削除しました。
現在、例会予定表によりFAXで出欠確認しており、ほとんど使用されないのです。



委員会報告

社会奉仕委員会 佐藤栄治委員長

11月1日の移動例会の件、当日の服装は普段着で大丈夫です。長靴等があれば良い
11:30~なので11:20分頃まで集合して下さい。式典は40分位です。

ゴルフ愛好会 齋藤幸雄代表

10月29日第3ブロックゴルフ大会が大石田ゴルフクラブであり出席者はスタート時間30分前まで現地集合お願い致します。

出席報告 永山和敏委員長

本日会員53名 出席者35名 出席率74.5% 前々回出席率93.6%に修正いたします。
義務出席者 47名

スマイル報告 報告者 乙高昭一 親睦・スマイル委員

- ・赤塚 弘実 地区ガバナーノミニー、米山奨学・学友委員会
大久保委員長を歓迎致します。
- ・相馬 勝博 大久保委員長、本日の卓話宜しく申し上げます。
- ・新関彌一郎 大久保さんのお話楽しみにしています。
- ・鞍掛 彰秀 大久保委員長を歓迎して
- ・志田 泰久 大久保章宏米山奨学会委員長大歓迎します。
大久保章宏ガバナーノミニー、来たるべきガバナー年度に向けて様々な研究をされ準備を進めている事と敬意を表します。G年度楽しみにしています。
- ・武山 茂 大久保章宏米山奨学・学友委員長ご苦労様ですお話楽しみにしています。
- ・古瀬 正勝 大久保委員長を大歓迎致します。卓話宜しくお願い致します。
- ・佐藤 豊 大久保委員長を歓迎致します。チャリティーゴルフではお世話になり有難うございました。
- ・齋藤 幸雄 大久保委員長今日のご苦労様です。卓話宜しくお願い致します。
- ・高橋 繁夫 結婚記念日の花有難うございました。金婚+2年になりました。
- ・加藤 亨 この前の台風の時、建勲神社の階段が滝になっていました。
- ・半澤 清彦 遅く来て早く帰ります。すみません。
- ・押野 茂彦 広島友人が広島四郎に会ったそうです、次の日から売上が一挙に上がったそうです。皆さんも広島四郎に会いに行っはいかがでしょう？